

令和7年度 学校評価報告書

1 目標

(1) 学校教育目標

「思いやる」～自他ともに思いやる生徒～

(2) 育成すべき資質・能力

『自律』自ら気づき、考え、判断・決断し、行動する力

『連帯』多様性を尊重し、対話を通して納得解や新しい価値を創造する力

(3) 重点目標

「考動」～トライ&エラー

(4) Motto

・委ねて支える

・「教師の出番」

(5) 各部の目指す生徒像

ア 絆づくり部

①目的に向かい、挑戦を重ね、試行錯誤できる

②自他の良さに気づく

イ 学びづくり部

①努力したり工夫したりして学習に取り組むことができる。

②対話を通して、自分の考えを深めることができる。

2 アンケート結果

生徒	項目	数値目標	結果	比較
1	授業がわかる	60%	31%	👇
2	信頼できる先生がいる	60%	52%	👇
3	学校が楽しい	60%	56%	👇
4	みんなで何かをするのは楽しい	60%	70%	👇

* 数値目標・・・4段階評価で「4：とてもそう思う」と答えた割合

保護者	項目	R6	R7	比較
1	子どもは授業が楽しいと言っている	84.7%	76.6%	👇
2	子どもは授業が分かると言っている	63.5%	70.4%	👇
3	学校は家庭への連絡をきめ細かく行っている	89.1%	86.4%	👇
4	学校は保護者の相談に対して丁寧に応じている	91.0%	93.8%	👇
5	子どもを大切にす姿勢で指導にあたっている。	92.3%	95.1%	👇

* 4段階評価で「4：とてもそう思う」「3：ややそう思う」と答えた割合

3 評価者からのご意見

○子ども達も教師も、よい表情で授業に取り組んでいる。授業に耳を傾け、目を向けている子ども達が多い。

○仲間と一緒に取り組むことができている。その反面、自分の意思をもち、自分で取り組むことへの弱さがある。仲間と取り組んだり学んだりした後、いかに自分への力としていくかを身につけていきたい。

○御中学区の共通実践を具体化したり、不登校への課題も教員以外の大人たちで関わっていくことを考えたりしていくことも考えていきたい。

4 考察

昨年度の数値を上回ったものの多くが「かかわり」に関するものであった。それは、心理的安全性の確保を目的とした、プロアクティブな生徒指導を推進してきた結果であると考えられる。年度始めや、長期休業明けの教育計画を見直し「ゆるやかなスタート」を実現したことも、職員がゆとりをもって生徒や保護者と接することへと繋がった。授業では、御前崎市の授業改善テーマ『学びこむ』を踏まえ、単元情報の開示と共有、生徒に委ねるための環境設定の充実を図ると共に、すべての生徒に心理的安全性が確保された環境づくりを大切にして、教育活動を行っていく。個の生きる力を育むためには「静岡版 SEL」の積極的活用を、個の学びを保証するためにはさらなる授業改善をし、「自律」と「連帯」の育成に全職員で取り組んでいく。